**令和4年度社会福祉法人しいの木会事業計画　　資料③**

**◆法人事業計画**

・今年度より利用者の日中活動は、シーモックで行うこととなる。利用者個々に見合ったグループ編成を行い、新たな気持ちで支援に取り組んでいく。サービスの変更については状況を見極めながら検討していく。

・シーモック、グループホームの利用者増員、利用率の向上を目指していく。年間の稼働日を増やす（５日増）等、経営面での安定を図る。

・シーモック、ホームどんぐりの修繕工事を適時行っていく。

・虐待防止委員会がその機能を発揮できるよう努めていく。また、全職員が虐待防止研修を行い、障害者虐待に対する意識の向上を目指していく。併せて、身体拘束等の適正化についても虐待防止委員会の中で検討をしていく。

・社会福祉法人が担う社会貢献活動について、他法人との繋がりを作り、協議していく。

・BCP（事業継続計画）策定の２０２４年４月義務化に伴う準備を進めていく。

・しいの木会の今後を見据えての人材確保に努めていく。

・役員会等は年間計画に従って実施するとともに、法人の事業に対して適切なガバナンスを発揮する。

　　　　　　　　　　　　　　（役員会予定）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日 | 種別 | 参加者 | 決議事項 |
| 6月上旬 | 理事会 | 理事・監事  会計責任者 | ・評議員会提出議題（案）の承認 |
| 6月中旬 | 評議員会 | 評議員・役員  会計責任者 | ・令和3年度事業報告および決算の承認  ・令和4年度事業計画および予算の承認 |
| 11月下旬 | 理事会  評議員会 | 理事・監事  評議員  会計責任者 | ・補正予算の承認 |
| 3月下旬 | 理事会  評議員会 | 理事・監事  評議員  会計責任者 | ・補正予算の承認 |

**◆シーモック事業計画**

新たなグループでの日中活動を進めていく。菓子製造については、一部工程の機械化を検討していく。効率的な菓子製造をめざし、繁忙期にも対応できる体制を整えたい。菓子販売については、注文販売やインターネット注文等、年間をとおして安定的な販売ができる体制を構築していく。室内作業、室外作業については、個々の状況に合った活動を提供できるよう、新しい作業種や活動を模索していく。また、引き続き感染予防を徹底していく。コロナの状況を見ながら行事等を行い、利用者のストレス緩和に努めていく。

**各部署の計画**

1. 就労継続B型（定員30名）

≪シーモック≫

ア）スイーツワーク（菓子製造）

菓子製造（調理・包装）を一元的に行い利用者のスキルアップを目指していく。

イ）ピースワーク （屋内作業）

受注作業の他、製作活動（自主製品）について模索していく。また、屋外での活動も取り入れながら、健康面を考慮した活動を行っていく。

ウ）ベジワーク （屋外作業）

近隣の畑での野菜栽培を行っていく。歩行活動など、健康面を考慮した活動を取り入れていく。

1. 生活介護（定員7名）

エコワーク

リサイクル活動や創作活動、歩行活動・体操などの健康面を考慮した活動を行っていく。リサイクル活動で得た業者買い上げ金、市の助成金を基にお楽しみ会を行う。利用者のペースに合わせた内容の1日外出を行う。

一人一人に合わせた細やかな支援を行っていく。

**◆相談支援事業計画**

今年度も引き続き、サービス等利用計画書の作成、モニタリング（利用者状況の把握・計画の見直し）を行う。一人一人のニーズに対し適切なサービスが受けられるよう、情報提供を行う。

**◆日中一時事業計画**

利用者の地域生活を、就労支援等に限らず幅広く支援する観点から、月に2回、土曜日に余暇活動を行う。コロナの状況を踏まえ、活動内容や参加人数に配慮する。（年間計画書により24回実施予定）

また、日常的な活動と並行して緊急利用の受け入れを行う。

**◆グループホーム事業計画**

利用者が地域において主体的に生活できるよう支援していく。QOLの向上を目指すとともに、利用者、家族との面談やニーズに柔軟に対応をしていく。地域の相談支援機関等と連携を図り利用率を上げ、収益の増加に努める。

利用ニーズが増えた場合を想定し、新設計画を検討していく。

**短期入所事業**

利用者家族の緊急時の対応や体験的利用等、福祉の充実を図っていく。